



市議会議員
佐々木ナオミ

小田原市議 佐々木ナオミの 議会な日々ニュース

2011年
臨時号!!

発行：佐々木ナオミ後援会「チーム・ナオミ」 発行責任者 佐々木ナオミ
〒250-0045 小田原市鴨宮 1 6 7 杉山ビル 2 F tel&fax 0465-34-2834
メール love-and-peace@naomi-sasaki.com HP <http://naomi-sasaki.com/>

つながろう東北！ 私たちに出来ること

今回の東日本大震災で、日本中、そして世界中に支援の輪が広がっています。わたしもとにかく出来ることをしていこう！と
考え、さまざまな取り組みを始めました。小田原の地から、被災地へ、市民の皆さんの思いが届くこと、そして、いまま不安な
状態で被災している方たちが、一日でも早く安心して眠れることを願っています。

佐々木ナオミ事務所にて、 支援物資の一時預かりをしました！

小田原市では、被災地に向けての支援物資の募集を行
いました。それにあわせ、私の鴨宮の事務所を3月21・22日
と4月2日・3日の2回、支援物資の一時預かりとして開きま
した。

支援物資の受け入れは、市役所だけでしたので、友人知
人をはじめ地域の皆さんにも呼びかけ、少ないものもこちらで
品目別にまとめてダンボールに入れて、市役所へ届けました。

急な呼びかけにもかかわらず、たくさんの方が「少しでも役に
立ちたい」とおっしゃって、物資を運んでくださいました。ありが
うございました！

支援物資を軽トラで運びます。
たくさん集まりました！



相馬あしがら尊徳基金会設立！

私が代表を務める市民政治グループ@あしがらでは、会
員の有志で、「相馬あしがら尊徳基金会」を設立。小田原と
ゆかりの相馬(かつて、二宮尊徳が天命の大飢饉の際に復興
に尽力した)をサポートする「相馬あしがら尊徳募金」を始
めます！

市民の思いを形にして、この危機を、相馬市とのさらなる
つながりを築くチャンスととらえ、出来ることから始めます。

募金送金は下記口座をお願いいたします。

口座記号番号 00210-0-124616
口座名称(漢字) 相馬あしがら尊徳の会
口座名称(カナ)ソウマアシガラソントクノカイ

加入者払い込み店 小田原城山
4月6日現在、集まった約14万円を、
相馬市へと送金いたしました！

まだまだ募金活動は続きます。
また、佐々木ナオミ事務所でも
随時受け付けています。
ぜひご協力よろしくお願いします！



FROMあしがら 被災地へみんなで行きませんか？

「FROMあしがら」は、「被災地で何か出来ないか」と思うあしがら地域の有志の集まりです。わたしも、事務局員のひとり
として設立準備から参加をしています。

「行きたい」という個人の思いを、確実な支援につなげるため、チームとして計画・準備を進め、5月10日(火)夜、小田原発
～ 5月16日(月)朝、小田原着(実働5日・車中泊2日)で現地入りする予定です。行き先は現在調整中です。

現地へ「行く人」も、送り出す協力者「支える人」も、経験や資格などの参加条件はありませんが、あしがら地域住民の参加
を中心にしています。被災地支援の最初の一步を皆で踏み出すこと。そして、その仲間と体験を共有することが、あしがら地域
の明日にも生かされる事を願って動き出しました。

ぜひ一緒に現地へ行きませんか？詳しくはFROMあしがらのHPをご覧ください。 <http://fromashigara.com/>

申込み・問合せ先 FROMあしがら事務局 相原佑子・海(農場こぶた畑) PCメール kobutabatake@gmail.com

FAX 0465 - 73 - 2981

平成23年度の予算審議のご報告！

3月4日から17日まで、平成23年度予算を審議する、12名の委員で構成された予算委員会が開催されました。私も予算委員の1人として審議に参加しました。私が気になる予算をご報告します。

～ 学校施設の維持管理に関して～

予算を広げて、積極的な整備を！

学校の修繕についての要望をさまざまに受けますが、どうも対応が遅い！子どもが長い時間過ごす学校が安全でなければならないはずですが、雨漏りがする、換気扇がない、備品が壊れている、などなど、小さなものから大きなものまで、さまざまな要望があります。こうした要望に対して、教育委員会では予算の範囲内で対応していくとのことでしたが、果たして、それでいいのでしょうか？

昨年度の大型の台風や、このたびの地震などの大規模な災害で、学校が市の広域避難場所となった場合も考え合わせれば、なおさらのことです。矢作小の体育館などは窓枠が古いために雨が吹き込んできています。

子どもの安全を視点に置いた学校施設の管理の計画を策定し、教育委員会が点検を行い、学校の要望を待つのではなく、積極的な維持管理をすべきです。

子どもの命、そして、災害時の市民の命を守るためにも、学校施設だけでなく、今ある施設をしっかりと維持修繕し、安心して使えるものにしていくため、予算を拡大してしっかりと対応してほしいと要望しました。

～ 競輪事業について～

売り上げは危機的状態！

廃止も含めた検討を！

平成19年に出された競輪事業検討委員会の答申では、廃止を検討する時期として、「赤字、もしくは赤字が想定される事態」としています。

昨年度は売り上げが落ち、一般会計への繰り入れはその前の年より2億円カットの1億円。今年も予算では昨年度と同額。また、基金の積み立てで、廃止の際にかかる費用が賄えるのかという部分も、不安な点が予算委員会での議論の中で見えてきました。今回の震災で、おそらく、今年度はさらに売上が落ちるでしょう。「赤字が想定される事態」は今です。

副市長は「検討をしたいなあ、と思っている」という答弁。廃止が存続かを議論するためにも、早急に、廃止に関わるコミュニケーションを策定し、各種保障費なども含めた、現実的な数字を確認し、提示すべきと訴えました。

～ 自治基本条例に関して～

まずは、行政が襟を正す条例にすべき

自治基本条例について、私自身は制定すべきと思っています。地域活動や市民活動はもちろんのこと、市民の自治や権利を保障するために、首長、議会、行政のすべきことを明らかにすることのためのものであってほしいと考えています。

今回の提案のあった自治基本条例は市民の役割に重きを置いています。たび重なる市の職員による不祥事が発覚した状況での提案は、市民感覚とずれている！と私は思います。

さらに、自治会という地域の組織の性格を条例で制定するのは、それぞれの地域性を持つ自治会の独自の活動を妨げることになりかねません。

条例の一部の内容を変更した修正案を提出し(委員会では否決)、市の条例案には反対しました。

コラム

～ 福島原発の状況で思うこと～

福島原発の状況が、深刻化しています。

農産物や海洋への汚染、水道水の放射性物質の検出など、今後被害はどこまで広がっていくのか、その不安は、日に日に増しています。

これまで、わたしは原発の問題にさまざまな形で取り組んできました。私たちが便利な暮らしを享受するその陰で、放射能汚染の恐怖と隣り合わせに暮らす原発建設地の現状を、離れた地域で暮らす私たちの地域で多くの方に知ってほしい、そして、私たちのエネルギーの問題をどうしていけばよいのかを、ともに考えたいと思ったからです。

2007 鎌仲ひとみ監督「六ヶ所村ラブソディ」自主上映会開催

2008 新潟県 柏崎刈羽原発 視察

2009 青森県 六ヶ所村再処理工場 視察

2010 鎌仲ひとみ監督「ミツバチの羽音と地球の回転」自主上映会開催

2011 祝島 trip 報告会 開催

今回、これだけの大きな犠牲を払って、やっと真正面から原発の危険性について議論することができるという事実には愕然としています。

国では、エネルギー政策について、これまでの原発推進路線を見直す必要があると菅首相が発言しました。世界でも、見直しをする動きがあるようです。

市町村レベルでも、太陽光をはじめ、水力、地熱、波力などさまざまな自然エネルギーを積極的に導入し、電気も地産地消することで、段階的に原発に頼らない暮らしが実現できるのではないかと思います。

そして、わたしたちの暮らし方を変えていくことも、同時に必要なことです。